事例No.	2405
公表年度	R5
団体の属性	一般市
団体名	石川県羽咋市

事例区分	DX

タグ	・AI ・交通事業 ・少子化・人口減少

事例種類	交通手段の確保

事例内容・タイトル

AIオンデマンドタクシーを活用した新たな地域公共交通網の形成～コンパクトシティ構築事業～

出典

総務省ホームページ

AIオンデマンドタクシーを活用した新たな地域公共交通網の形成～コンパクトシティ構築事業～（石川県羽咋市）

R4.11時点

【事業背景】

〇公共交通空白地域が点在するエリアが多い。交通事業者の高齢化により事業継続・公共交通網の維持がより困難に。
〇高齢化率40%超。令和30年には約50%に上昇する見込み。

【事業実施主体】羽咋市
【R3交付金活用額】14,795千円

【取組内容】

【令和3年度実施した事業】
〇コミュニティバスの利用減少が著しい地域や公共交通空白地域を中心に、AIを活用したオンデマンドタクシー（AI乗合交通）の実証運行を実施。（事前予約制による利用実証）
〇スマホに不慣れな住民向けに予約方法の相談会を実施。

【概念図】



AIシステムを導入した乗合タクシー

・AIシステムでの配車予約や複数の異なる予約から最適配車・最適運行ルート等を瞬時にAIが計算を行いドライバーをアシストする。
・バスが往来できない住宅密集地等、誰でも家から近い乗降スポットを配置

【相談会の様子】



【成果（令和3年度）】
〇1日平均20人以上の利用があり、利用した住民の満足度（アンケートによる）も70%を超えた。
※なお、コミュニティバス休止地域の利用者は、75歳以上の割合が高く事前予約制での利用が少し難解であったためか、1日平均約4人と伸び悩んだ。

【令和4年度実施予定の取組】
〇令和3年度に実施した実証を踏まえ、既存の地域公共交通、主にコミュニティバスのルートや便数などの再編を検討
（令和5年度も併せて2ヶ年での検討を予定。）
〇料金支払いのキャッシュレス化や観光・商業施設との連携による消費喚起につながる取組などを一体的に進める。